

Hokkaido University Institute for the Advancement of Higher Education

ニュースレター



北海道大学 高等教育推進機構

Newsletter No. 114

- ラーニングサポート室2018年度活動報告 (3 ページ)
- 新渡戸カレッジ・フェローゼミの取組み (5 ページ)
- 2019年度全学公開講座のテーマ・講師が決定 (19ページ)
- 経済同友会と連携した長期インターンシッププログラムの実施 (21ページ)

(詳しい目次は裏表紙にあります)

巻頭言 FOREWORD

国際教育研究部の軌跡

高等教育推進機構 国際教育研究部長 高橋 彩

はじめに

昨年度、改組により、高等教育推進機構に新しい部が誕生しました。国際教育研究部です。この改組は、本学にとって、教育国際化の一つの節目であったと思います。本稿では、高等教育のグローバル化の中で、日本語教育および国際教育プログラム・事業を提供してきた国際教育研究部の軌跡を紹介します。読者の皆様にとって、本学の国際化の未来を展望するための一助になれば幸いです。

はじめりは留学生センター

国際教育研究部の嚆矢は「留学生センター」です。留学生センターは、外国人留学生増加政策を背景に1990年（平成2年）から国立大学に設置され、本学では1991年（平成3年）に誕生しました。留学生セ

ンターは、その年報によると、当初、外国人留学生に対する日本語教育と留学生の教育研究や生活上の指導・支援を行う学内共同教育研究施設で、センター長以下6名

（1991年度）の小さな組織でした。1994年（平成6年）には、札幌キャンパスの南端に建物が完成します。現在、北海道大学文書館となっている薄小豆色の建物です。

当時、日本社会は、いわゆる「留学生10万人計画」の真ただ中にあり、国立の基幹総合大学の北大でも留学生数は増加の一途を辿っていました。私が着任した2003年当時は、国際化途上にある学内外の諸

制度や文化との狭間で留学生を送る外国人留学生への日本語教育や支援に加え、関連する制度改革、教育・支援のシステム化、環境整備に知恵を絞りながら対応するといった日々でした。今思えば、それでもまだ、一つの道程を少し駆け足しながら進んでいた感じです。

国際本部の一部に

2010年、大きな転換点が訪れます。教育研究組織であった留学生センターは、学内の国際的な活動を司る運営組織として新設された「国際本部」の一部になります。その後、地理的な場所も、札幌キャンパスの中ほどにある工学部Q棟を改修して移転し、あらたな場所で、新たな活動が展開することになります。そして、進んでいた道程と景色が一変します。

外国人留学生の急増と日本語授業増大への対応、新渡戸カレッジ開校による多文化教育の開始、日本人学生向け短期留学（派遣）プログラムの立ち上げ、交換留学プログラム半年コースの開始、現代日本学プログラム課程における新しい形の日本学・日本語教育の企画と提供、英語による課程・プログラム等の増加とともに多様化する日本語ニーズ、等々。高等教育のグローバル化を体感しながら、これまで本学になかった教育を、新規プログラムのために着任したメンバーとともに、創造的かつ柔軟に企画・実施・運営の正面あるいは側面から取り組む、激動の日々が続きました。2014年のスーパーグローバル大学創成支援事業の採択により国際化はさらに加速していました。国際本部下の「留学生センター」は、その後「グローバル教育推進センター」に改組。2016年に国際本部が国際連携機構になると、「国際連携機構国際教育研究センター」に改称されました。

高等教育推進機構国際教育研究部へ

さらに変化の大波がやってきます。2018年8月、国際教育研究センターは高等教育推進機構下に入り、改組され、高等教育推進機構の5つの部の一つになりました。この時、国際連携機構でHokkaidoサマー・インスティテュート（HSI）と海外ラーニングサテライト（LS）を統括するインテンシブラーニングセンターも統合され、国際教育研究部の一部門となります。そして、日本語・国際教育研究部門、異文化交流教育研究部門、学際教育プログラム部門、

インテンシブラーニング部門という4つの部門で出発することになりました。前月の7月には国際部の改組もあり、国際的な教育を扱う事務部署も学務部の方に移っていました。

歴史的な視点で眺めると、国際教育に携わる教員集団が全学的な教育を行う高等教育推進機構の中に入るということは、本学の教育の国際化がもはや特別なものではなく、従来の教育中に実質的に溶け込んでいくという意味を持っていたと思います。

教育国際化を支える多様な教員集団

2019年4月、再度の改組により国際教育研究部内の部門が廃止され、より柔軟な「ユニット」で構成される組織になりました。従来から、教育の企画、実施、運営において部門を越えて各教員が協働することが多かったため、実態に合わせた改編がなされたのです。

現在、国際教育研究部では、日本語・多文化教育、日本語予備教育、海外短期留学、二つの交換留学プログラム、二つの学位課程プログラム、HSI、LS等の教育や運営に携わる28名の教員（兼務含む）が、7つのユニットを構成しています。日本語教育ユニット、多文化教育ユニット、HUSTEPユニット、グローバル教育ユニット、インテンシブラーニングユニット、現代日本学ユニット、ISPユニットです。メンバーの専門分野は日本語教育、国際教育、日本学、生物、化学、物理等、多岐に渡り、いずれも各分野で特色ある研究を行うだけでなく、豊かな国際教育経験と専門分野の知見を基に先進的な教育を提供しています。教育を結節点に、多様な研究者と世界各国からの学生たちが集う組織空間は、それ自体がミニグローバル社会になっています。

おわりに一多様性を育む場として

かつて「国際連携機構」の看板が掲げられていた建物は、今は「学生交流ステーション」となり、2階には「学生相談総合センター」が入りました。これまで、主に海外からの学生が行き交っていた建物に、日本人学生を含む全学生にとって、学生生活上重要な機能が入ったのです。この物理的な場の変化は、少し大袈裟かもしれませんが、北大生の学生生活の様相を変える可能性を持っています。新しい学生交流ステーションが、文化や言語背景の異なる学

生間の交流をさらに活発に、豊かにし、多様性を育む場として成長してくれることを期待しています。

国際教育研究部は、教育国際化の只中であって、変化に対応しながら新しい教育を模索し、挑戦してきました。これからも本学の発展に創造的に貢献し

ていきたいと思っています。今後ともよろしく願いいたします。

（同部の沿革、活動詳細は近日公開予定の新HPでも紹介します。）

高等教育推進機構 Institute for the Advancement of Higher Education

ラーニングサポート室2018年度活動報告

高等教育研修センターラーニングサポート部門（通称ラーニングサポート室、LSO）では、初年次学生の進路選択支援および学習支援に加え、総合入試制度に係る分析・検証作業を実施しています。進路選択支援では総合入試入学者の学部学科選択に関する相談や情報提供、学習支援では個別学習相談やセミナーの開催、学習教材の開発等を行っています。その他、本学の高等教育制度の向上を図るため、補講などの新たな取り組みや提案を行っています。以下に、2018年度の各学修支援活動（表1）ならびに他組織等との連携事業活動について報告します。

表1 2018年度LSO学修支援の取り組み状況

支援内容	延べ利用者数 (カッコ内は2017年度実績)
進路選択・履修相談	532人*(732人)
進路相談会 (学部時間割ポスター展示)	616人(428人)
学習サポート (個別学習相談)	2905人*(2489人)
スタディ・スキルセミナー	630人(629人)
物理のコツ（全28回）	累計6260部配布(7394部)
高校物理補講（全2回）	62人(---)
統計学のススメ（全5回）	累計2020部配布(2203部)
学習スキル資料（全3回）	累計815部配布(500部)

※2019年3月8日時点

○進路選択支援

2017年度と比較すると進路選択・履修相談の延べ利用者数は大幅に減少しました。その背景には特定専門職員（スタッフ）の総員4名中2名が4月に新

規雇用され、相談が最も集中する4月の時点では、ほぼ2名のみで対応していたことが考えられます。本年度の場合、延べ532人の相談者のうち、300人弱が4月に集中しました。スタッフ1人当たりの対応件数で見ますと、2017年度とほぼ同等の件数となりますが、2019年度は1人でも多くの学生を支援できるよう全力で取り組んで参ります。

9月と2月に学部・学科等紹介の一環として開催されたアカデミック・アドバイザーによる移行先個別相談会（写真1）が盛況でした。学生から“新薬の開発に興味があるが、薬剤師の国家資格も取りたい。どのような選択肢があるか。”、“環境と人間が関わる問題を勉強したいが、工学部環境社会工学科のコース選択で悩んでいる。”といった専門的な相談が数多く寄せられ、実際の助言や詳細な情報を提供することができ、アカデミック・アドバイザー制度が有効に機能しました。

さらに、各学部の先生方や関係者の方々と協力し

写真1 移行先個別相談会の様子（2019年2月）

ながら、学部学科選択に役立つアカデミック・マップの研究キーワード、テーマ、カテゴリーを見直し、2019年度版を出版しました。また、例年通り経済学部の協力を得て、資料「知っておきたい日本経済と社会人基礎力」を改訂し、新入生オリエンテーションにて全新生に配付しました。

○学習支援

これまでの学習サポート（個別学習相談）の利用者はゆるやかな増加傾向にありましたが、2018年度の延べ利用者数が2905人となり、2017年度の2489人に比べ大幅に増加しました。月別の利用状況を調べた結果、期末試験前である7月と1月の利用件数が極めて多いことが分かりました。また、各学期の始めに開催するスタディ・スキルセミナー（写真2）のうち、特に「論説型レポート」と「実験レポート」に関する回で多くの学生が参加しました。しかし、「データの扱い方」と「進路選択の手引き」を題材にした回では参加者が少なく、今後テーマの見直しや内容の改善を図っていく予定です。



写真2 スタディ・スキルセミナーの様子（2018年4月）

学習サポートの一環として、物理学や統計学などの資料配布型学習支援を進めています。「物理のコツ」シリーズでは、これまでの全22回から全28回に拡大し、全5回のシリーズで構成される「統計学のススメ」では内容を大幅に改定しました。並行して、スタディ・スキルセミナーの要点をまとめた資料も準備し学習資料の充実化を図りました。

かねてより、全学教育科目の物理学において高校で物理学を履修した学生とそうでない学生との間で学力の2極化が指摘されており、学習サポートや学

生アンケートからも同様の結果が確認されました。このような現状を受け、学力の不均衡を改善する目的で高校物理補講（写真3）を試験的に導入しました。本補講は9月と11月の計2回実施され、延べ62人の参加者が受講しました。補講後にはアンケートを実施し、本補講の評価や要望などについて情報収集を行ったところ、補講の拡大を望む声が多くありました。補講の拡充を検討しつつ2019年度も継続して実施する予定です。



写真3 高校物理補講の様子（2018年11月）

○データ分析

データ分析では例年通りアドミッションセンターが実施する学生アンケートの調査分析を行い、アドミッションセンター調査・分析ワーキンググループ、総合教育移行専門委員会にて報告しました。2018年度はアンケート集計結果の学生への公開に向けて作業と議論を進め、各年次アンケートについて、「総合入試入学者」「学部別入試入学者」「全体」の集計結果を高等教育推進機構ウェブサイトにて学内限定で公開しました。

○他組織等への協力

- ・オープンキャンパスおよび東京と大阪で開催された進学相談会に参加し、総合入試制度の特徴や学部・学科等選択に関する個別相談を実施しました。
- ・全学教育科目主題別科目社会の認識「大学生活の心理学」（担当教員：松田康子教授、齋藤暢一郎講師）において1回分の授業を担当し、「より良い学びのための認知心理学」のタイトルで講義を行いました。
- ・附属図書館と連携し、北図書館2階新着図書コー

ナーの隣にて、数学・物理学・化学・統計学の学習に役立つ参考図書の展示を行いました(2018年6月下旬～8月上旬)。LS部門では参考図書の選定と推薦文の執筆を担当しました。

- ・北海道大学, 東北大学, 福島大学の3大学で合同学修支援研修会を開催し, 各大学の学修支援の取り組みや教育的効果などについて情報共有を行いました(写真4)。

今後もLSOは教育活動をはじめ様々な面で組織運営に協力し, 各支援や事業の拡充に努めて参ります。

(秋山 永治)

写真4 学修支援合同研修会の様子(2019年3月)

新渡戸カレッジ・フェローゼミの取組み

はじめに

新渡戸カレッジが提供する教育課程(「新渡戸カリキュラム」)には, 「新渡戸学」と呼ばれる科目があります。新渡戸学は新渡戸稲造の精神に基づいた深い倫理性と品位ある自律的な個人としてのグローバル・リーダーのスキルを身につけ, 将来のキャリアを考えることを目的とし, 新渡戸カレッジが独自に展開する授業を総称していいます。現在, 「基礎プログラム」(入校後1年目)対象の科目としては「新渡戸学(フェローゼミ)(1単位)」, また「オナーズプログラム」(入校後2年目以降)対象の科目としては「新渡戸学(セルフキャリア発展ゼミ)(1単位)」, 「新渡戸学(アドバンストゼミ)」(1単位)が開講されています。

新渡戸学(フェローゼミ)は, 平成28年度(2016年度)より開講された少人数演習形式の科目で基礎プログラム生の必修科目です。この科目の特徴は北大の同窓生等からなるフェローが学生を指導し, 現実社会の課題に取り組むという点です。以下に新渡戸学(フェローゼミ)の取組みについて紹介いたします。

新渡戸学(フェローゼミ)

新渡戸学(フェローゼミ)の目的は, 世界が抱えている諸問題について, 実際に現地を視察して学ぶとともに, グループワークを通して, 学問と社会の

あり方や持続可能な社会のあり方を考え, 同時にリーダーシップやチームワーク力を身につけることです。学生は複数のテーマの中から関心のある一つを選んで履修し, 下記の4つの目標に向かって約2ヶ月間のゼミに取り組みます。

到達目標

- ①新渡戸カレッジが示すリーダーシップをゼミ活動の中で積極的に発揮することができる。
- ②自分で考え, 意見を出し, とともに議論し, 明確な結論を導くことができる。
- ③ゼミにおける現地での学びを関連分野の知見と結び付けて説明することができる。
- ④ゼミのテーマのもと, 持続可能な社会の実現に向けて自らの考えを表現することができる。

各ゼミはゼミ担当フェロー1名が主導し, 支援教員と支援員(新渡戸カレッジ2年目以上の上級生等)のほか, テーマに関連する関係者の協力を得て行われます。履修者は, フェローや支援教員とともに札幌近郊の施設などを現地視察した上で, 課題を設定し, 解決策を議論します。ゼミの成果発表の場である全体発表会では, すべてのゼミが一堂に会してプレゼンテーションを行い, 担当フェローと教員による評価に基づき上位3ゼミを, また参加ゼミ生全員の評価に基づき学生大賞のゼミを選定します。成績評価は出席, 授業, レポートを通して到達目標の達

成度を合・否で判定します。

ゼンテーションを行う予定です。

2018年度の実施

2018年度は以下の10テーマのゼミが開講されました(表1)。各ゼミ15名程度の学生が受講したほか、高大連携の一環として札幌市や近郊の高校生が毎回熱心にフェローゼミを聴講しました。12月9日(日)には全体発表会が開催され、ゼミ履修者及び協力いただいた現地視察関係者や外部講師の方など多くの聴衆の前で、10ゼミがプレゼンテーションを行いました。ゼミ開始から全体発表会までの約2ヶ月の間、履修者は授業以外にも集まって議論を重ねてきたこともあり、創意工夫の凝らされた発表が多く、活発な質疑応答が交わされました。審査の結果、学生大賞に選出されたゼミは令和元年(2019年)5月11日(土)の新渡戸カレッジ入校式で、また1位から3位に選出されたゼミは同日午後の新渡戸Dayでプレ

2018年度新渡戸学（フェローゼミ）アンケート結果

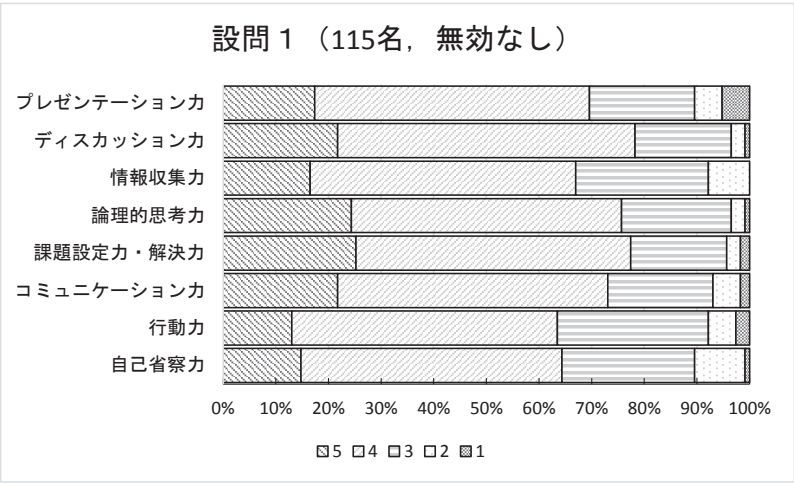
各ゼミの振り返り終了後にアンケートを実施しました。設問1では、フェローゼミを受講することによって8つの項目が向上したと思うか、それぞれについて該当するものを1つ選んで評点を数字で記入してもらいました、評点は、「5：強く思う」「4：そう思う」「3：どちらともいえない」「2：そうは思わない」「1：強くそう思わない」の順とします。8つの項目のうち、「プレゼンテーション力」「ディスカッション力」「課題設定力・解決力」「論理的思考力」「コミュニケーション力」の5項目について、70%以上の学生が向上を感じていることがわかりました(表2)。

設問2では、先に述べたフェローゼミの4つの到

表1 2018年度新渡戸学（フェローゼミ）テーマ

担当フェロー	テーマ	履修者
石川 裕一	グローバル化の終焉の中での我が国の安全保障	13名
伊藤 慎	酪農・乳業事業へのアプローチ提案と地域活性化	17名
大西 裕子	文化による地域振興・観光促進	15名
小林 浩治	北海道の産業の将来を考えるートヨタ北海道(株)から学ぶ	13名
重田 親司	北海道の水産業の明日を考える	15名
柴田 哲史	持続可能な「生産空間」の形成	14名
多田 幸雄	高大接続とJETプログラム参加者を活用する地域振興策の立案。 (注：JET/The Japan Exchange and Teaching Programme 語学指導等を行う外国青年招致事業)	15名
玉城 英彦	日本の刑務所の歴史と現状、課題は何か	15名
長岡 宗男	札幌市の観光・MICE事業におけるボランティア活動の役割	15名
廣重 勝彦	スタートアップ(起業)を通して「未来の生き方」を考える	15名

表2 フェローゼミ受講により向上した項目（アンケートより）

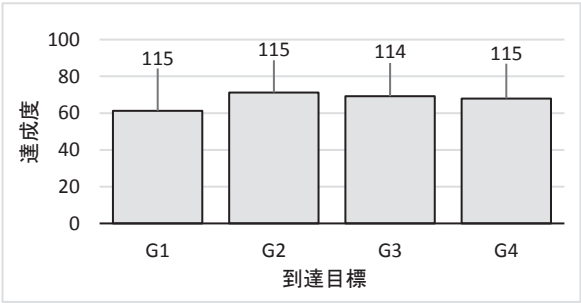


達目標がどの程度達成できたと考えるか、それぞれについて範囲0～100%の数値で示してもらいました。到達目標①については平均値61%，到達目標②③④については平均値70%前後という結果になり、到達目標達成度は必ずしも高くないため、今後のゼミの課題といえます（表3）。

設問3では、以下の各設問に対してどう考えるか、それぞれについて、該当するものを1つ選んで評点を記入してもらいました。評点は「5：強く思う」「4：そう思う」「3：どちらともいえない」「2：そうは思わない」「1：強くそう思わない」の順とします（表4）。

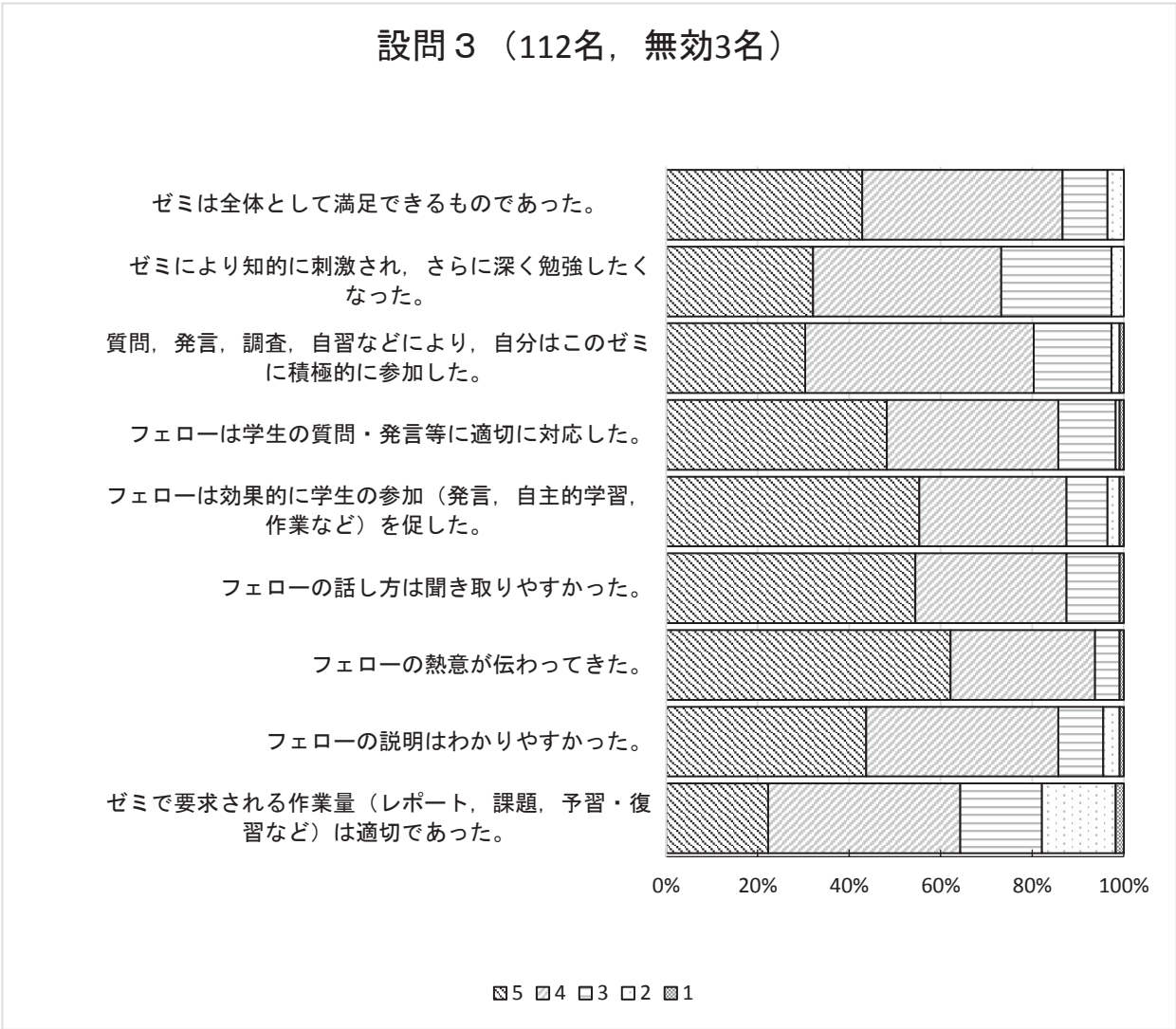
担当フェローへの評価では「ゼミで要求される作業量は適切であった」について肯定的に回答した

表3 到達目標達成度



学生は64%にとどまりました。また「ゼミにより知的に刺激され、さらに深く勉強したくなった」については73%の学生が肯定的に回答しています。それ以外の設問については80%以上の学生が肯定的に回答しており、全体的にゼミに対する満足度は高いといえます。

表4 フェローゼミに対する評価（アンケートより）



まとめ

本学同窓生との協働による新しい大学教育の実践である新渡戸学（フェローゼミ）は平成31年度（2019年度）で4年目を迎えます。ゼミを担当するフェローの熱意は非常に高く、学生にもその熱意が十分伝わっていることが、アンケートから読み取れました。また、ゼミを支援する支援員の役割も年々大きくなっており、フェローゼミを履修した学生がその後、

支援員になるケースも出ています。このことからフェローゼミは新渡戸カレッジ生の横のつながりだけではなく、縦のつながりを深めることにも役立っているといえます。ゼミに対する満足度は高いものがありますが、今後は到達目標の達成度を上げるための改善などを図り、より充実した科目になるようフェロー、支援教員、支援員との連携を深めていきたいと思います。（畑中 貴美）

2018年度新渡戸学（フェローゼミ）の様子

写真1 グループ活動



写真2 現地視察（札幌市中央卸売市場）

写真3 地視察（奔別炭鉱跡）



写真4 現地視察（札幌証券取引所）

写真5 現地視察（株式会社インサイトテクノロジー）

写真6 現地視察（倶知安町役場）



写真7 全体発表会

写真8 全体発表会

写真9 表彰式



写真10 全体発表会（来場者全員での記念撮影）

写真11 振り返り

全学教育 GENERAL EDUCATION & 総合教育 FIRST YEAR EDUCATION

学務委員会報告

平成30年11月30日（金）に第3回学務委員会が、平成31年2月27日（水）に第4回学務委員会が開催され、以下の議題が審議・了承されました。

第3回学務委員会

議題1 平成31年度全学教育科目の開講計画について

各部局から提供された授業科目及び授業担当教員をもとに開講計画一覧を作成し、これが承認されました。

議題2 平成31年度全学教育科目に係るTF及びTAについて

TFについて、各科目からの希望を一覧にまとめたものを提出し、予算の配分を待って決定することとしました。TAについては、各科目からの希望を、合計額が平成28年度水準に収まるよう調整した原案を提示し、承認されました。

議題3 基礎科目「基礎自然科学実験」の廃止について

文系学生対象として行われてきた基礎自然科学実験を廃止することが承認されました。今後、文系学生で、自然科学実験を履修する必要がある学生は、理系学生と一緒に自然科学実験を履修することになります。

議題4 平成31年度全学教育部・総合教育部行事予定表等について

平成31年度からの入学式早期化にともない、新入生オリエンテーションなども早くなっています。ゴールデンウィークは天皇即位の関係で10連休となります。

議題5 学部学生の大学院共通科目における早期履修について

議題6 大学院共通授業科目における学生からの成績評価に対する申立て制度の取扱いについて

議題7 「大学の世界展開力強化事業」RJE3プログラムの補助期間終了後のプログラムの運営・体制について

議題5～7は大学院関係で、大学院共通科目における制度の整備、RJE3プログラムについては自己財源をもって、ロシア側5大学と事業を継続することが承認されました。

第4回学務委員会

議題1 北海道大学専門横断科目規程の制定について

議題2 北海道大学国際交流科目規程の一部改正について

議題3 北海道大学専門横断科目実施要項の制定について

議題4 北海道大学One Healthフロンティア卓越大学院プログラム規程等の制定について

議題5 国立大学法人北海道大学高等教育推進機構規程の一部改正について

議題6 国立大学法人北海道大学組織規則の一部改正について

議題7 国立大学法人北海道大学高等教育推進機構運営委員会高等教育研究専門委員会内規等の廃止について

議題8 国立大学法人北海道大学高等教育推進機構全学教育委員会内規の制定について

議題9 国立大学法人北海道大学高等教育推進機構大学院共通教育委員会内規の制定について

議題10 国立大学法人北海道大学高等教育推進機構国際教育委員会内規の制定について

議題11 国立大学法人北海道大学高等教育推進機構日本語・日本文化研修コース規程等の一部改正について

議題12 大学以外の教育施設等における学修のうち文部科学大臣が定める学修を全学教育科目の授業科目の履修とみなし単位を与える場合の取扱要項等の制定について

議題13 北海道大学全学教育科目規程の一部改正について

議題14 北海道大学全学教育科目責任者等に関する

要項の一部改正について

議題15 北海道大学大学院共通授業科目規程の一部改正について

議題16 国立大学法人北海道大学高等教育推進機構学務委員会総合教育移行専門委員会内規の一部改正について

議題17 国立大学法人北海道大学高等教育推進機構学務委員会総合教育教務・学生専門委員会内規の一部改正について

議題18 平成31年度全学教育科目に係るTF、TAの採用について

議題19 2020年度（平成32年度）全学教育科目の開講計画策定に向けて

議題20 2020年度（平成32年度）外国語カリキュラムの改編について

議題21 進級判定、進級要件単位充足判定について

議題22 第0次振り分け定員・第1次振り分け定員の決定について

議題23 学生の懲戒について

議題24 全学教育科目実行教育課程表の一部改正について

議題25 「2年次進級時における学部・学科等への移行点の算出基準単位表」の一部改正について

議題1 から議題3 は学部専門科目のなかに新たに専門横断科目を設けたことに関する規程等の改正で

す。議題4 は、新たに作られるOne Healthフロンティア卓越大学院プログラム関係の規程改正です。

議題5 ～議題17は、平成31年度からの高等教育推進機構組織改編にともなう規程等の改正です。

議題18は、予算配当額の決定を受けて、TF、TAの採用について決定したものです。議題19は、2020年度開講計画策定に向けて、平成31年度に行った開講コマ数削減策を継続して行うこと、従来行ってきたコマ数換算5/8（8分の5）という扱いを全廃することが承認されました。

議題20は、各学部意見照会をしていた外国語カリキュラム改正について承認されました。主な特徴は、1年次2学期に英語技能別演習（2単位）を新設すること、英語単位優秀認定の基準を引き上げること、初習外国語演習にコミュニケーション（略号C）とセミナー（略号S）を設けること、自習時間確保のためのオンライン教材を強化すること、などです。

議題21、22は1年次学生の学部学科等移行手続きを承認したものです。議題23は、2学期の試験において不正行為を行った学生に対して懲戒（停学3ヶ月）が決定されました。議題24は、基礎自然科学実験廃止と医学部医学科の進級予定者に対する新規授業の追加があったことによる改正です。議題25は、基礎自然科学実験廃止にともなう移行点算出基準単位表の改正です。

（全学教育部長 白木沢 旭児）

平成31年度（2019） 全学教育部・総合教育部行事予定表

第1学期

月 日(曜日)	行 事
4 1(月),2(火),6(土)	新入生定期健康診断
3(水)	新入生オリエンテーション及び総合教育部 ガイダンス (学部・学科等移行ガイダンス, 学部ガイダンス)
4(木)	入学式
5(金)	履修調整・登録に関するガイダンス及び 教育情報システム (ELMS) 利用に関する ガイダンス
6(土)～11(木)	履修相談会MANAVI
8(月)	第1学期授業開始日
8(月)～12(金)	抽選科目の申込期間 (Web入力)
16(火)	抽選科目の結果発表日及び追加申込日
17(水)～23(火)	履修登録 (Web入力)
5 8(水)～ 9(木)	履修時間割確認期間
20(月)	6 講時授業実施開始※下記参照
6 7(金)～ 9(日)	大学祭[期間中休講]
10(月)～12(水)	履修登録科目の取消期間 (Web)
15(土)	TOEFL-ITP試験 (英語Ⅱ)
19(水)	6 講時授業実施終了※下記参照
17(月)～19(水)	自由設計科目登録変更期間
7 24(水)	水曜日の授業終了日
30(火)	火曜日の授業終了日
31(水)	初習外国語統一試験日 (通常授業は休講)
8 1(木)	木曜日の授業終了日
2(金)	金曜日の授業終了日
4(日)～ 5(月)	オープンキャンパス
5(月)	月曜日の授業終了日(第1学期授業終了日)
6(火)～9/26(木)	夏季休業日
22(木)	全学教育科目成績Web上公開
22(木)～23(金)	全学教育科目成績確認及び成績評価に 関する申立て期間
9 上旬～中旬	学科等分属手続:当該学部 (2年次以上)

第2学期

月 日(曜日)	行 事
9 25(水)	ISP入学式
25(水)午後	学部・学科等移行ガイダンス
26(木)	学部・学科等紹介
27(金)	第2学期授業開始日
27(金)～10/3(木)	学部・学科等移行手続き (予備志望調査)
27(金)～10/3(木)	抽選科目の申込期間 (Web入力)
10 7(月)	抽選科目の結果発表日及び追加申込日
7(月)	予備志望調査結果発表
8(火)～15(火)	履修登録 (Web入力)
23(水)～24(木)	履修時間割確認期間
11 1(金)	月曜の授業を行う日 (金曜の授業は行わない)
25(月)～27(水)	履修登録科目の取消期間 (Web)
12 2(月)～ 4(水)	自由設計科目登録変更期間
26(木)～1/3(金)	冬季休業日
1 6(月)	授業再開
14(火)	金曜の授業を行う日 (火曜の授業は行わない)
17(金)	センター試験準備 (休講)
18(土)～19(日)	大学入試センター試験
22(水)	水曜日の授業終了日
29(水)	初習外国語統一試験日 (通常授業は休講)
30(木)	木曜日の授業終了日
31(金)	金曜日の授業終了日
2 3(月)	月曜日の授業終了日
4(火)	火曜日の授業終了日(第2学期授業終了日)
5(水)午後	学部・学科等移行ガイダンス
6(木)	学部・学科等紹介
17(月)	全学教育科目成績Web上公開
17(月)～18(火)	全学教育科目成績確認及び成績評価に 関する申立て期間
25(火)～26(水)	一般入試個別学力検査等 (前期日程)
27(木)正午	全学教育科目成績確定
27(木)午後～	第1年次進級判定
27(木)午後 ～ 3/19(木)	学部・学科等移行手続き (第1回志望調査～各学部振り分け)
3 12(木)	一般入試個別学力検査等 (後期日程)

第1回クラスアワー	新入生オリエンテーション時
第2回クラスアワー	4月下旬～6月上旬

第3回クラスアワー	9月下旬～11月上旬(基本的に9/25(水)午前)
第4回クラスアワー	2月初旬 (基本的に2/5(水)午前)

※6講時 (18:15～19:45) 授業実施スケジュール					
月曜1 講時の授業	5/29(水)実施	水曜1 講時の授業	5/20(月)実施	金曜1 講時の授業	5/28(火)実施
月曜2 講時の授業	6/5(水)実施	水曜2 講時の授業	6/10(月)実施	金曜2 講時の授業	6/4(火)実施
月曜3 講時の授業	6/12(水)実施	水曜3 講時の授業	5/27(月)実施	金曜3 講時の授業	6/11(火)実施
月曜4 講時の授業	6/19(水)実施	水曜4 講時の授業	6/3(月)実施	金曜4 講時の授業	6/18(火)実施
月曜5 講時の授業	5/22(水)実施	水曜5 講時の授業	6/17(月)実施	金曜5 講時の授業	5/21(火)実施

※4学期制実施スケジュール			
	授業実施期間	履修取消期間	自由設計科目登録変更期間
春ターム	4/8(月)～6/6(木)	5/13(月)～15(水)	5/20(月)～22(水)
夏ターム	6/10(月)～8/5(月)	7/8(月)～10(水)	7/16(火)～18(木)
秋ターム	9/27(金)～11/26(火)	11/5(火)～7(木)	11/11(月)～13(水)
冬ターム	11/27(水)～2/4(火)	1/6(月)～8(水)	1/14(火)～16(木)

平成30/29年度(第1学期)全学教育科目履修者数対比表(履修取消後：H30.7.12現在)

区分	授 業 科 目	30年度1学期(履修取消後)			29年度1学期(履修取消後)			30/29年度比較	
		クラス数	履修者数	1クラスの履修者数	クラス数	履修者数	1クラスの履修者数	履修者の増減	前年比%
	一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	101	1,732	17.15	101	1,795	17.77	▲ 63	96.5%
	(集中・論文指導除く)小計	42	696	16.57	45	715	15.89	▲ 19	97.3%
	(集中〈通年集中除く〉)小計	13	283	21.77	13	318	24.46	▲ 35	89.0%
	(論文指導)小計	46	753	16.37	43	762	17.72	▲ 9	98.8%
総合科目	環境と人間	17	807	47.47	16	847	52.94	▲ 40	95.3%
	環境と人間(1単位・春ターム)	2	119	59.50	2	72	36.00	47	165.3%
	環境と人間(1単位・夏ターム)	2	51	25.50	2	38	19.00	13	134.2%
	健康と社会	6	996	166.00	6	1,058	176.33	▲ 62	94.1%
	人間と文化	5	219	43.80	6	213	35.50	6	102.8%
	人間と文化(1単位・春ターム)	1	41	41.00	1	24	24.00	17	170.8%
	人間と文化(1単位・夏ターム)	1	17	17.00	1	7	7.00	10	242.9%
	特別講義	0	0	—	2	77	38.50	▲ 77	0.0%
	特別講義(集中)	2	6	3.00	—	—	—	—	—
	特別講義(1単位・春ターム)	3	207	69.00	2	214	107.00	▲ 7	96.7%
	特別講義(1単位・夏ターム)	3	181	60.33	2	184	92.00	▲ 3	98.4%
	総合科目 小計	42	2,644	62.95	40	2,734	68.35	▲ 90	96.7%
主題別科目	思索と言語	9	895	99.44	9	861	95.67	34	103.9%
	思索と言語(論文指導)	5	110	22.00	5	56	11.20	54	196.4%
	歴史の視座	7	358	51.14	3	270	90.00	88	132.6%
	歴史の視座(論文指導)	4	65	16.25	7	95	13.57	▲ 30	68.4%
	芸術と文学	8	642	80.25	7	1,007	143.86	▲ 365	63.8%
	芸術と文学(集中)	3	210	70.00	3	210	70.00	0	100.0%
	芸術と文学(論文指導)	3	31	10.33	3	46	15.33	▲ 15	67.4%
	社会の認識	25	1,225	49.00	25	1,236	49.44	▲ 11	99.1%
	社会の認識(論文指導)	9	116	12.89	8	115	14.38	1	100.9%
	社会の認識(1単位・春ターム)	0	0	—	2	79	39.50	▲ 79	0.0%
	社会の認識(1単位・夏ターム)	0	0	—	2	33	16.50	▲ 33	0.0%
	科学・技術の世界	17	1,540	90.59	18	1,439	79.94	101	107.0%
	科学・技術の世界(集中)	1	3	3.00	—	—	—	—	—
	科学・技術の世界(論文指導)	2	59	29.50	1	29	29.00	30	203.4%
	科学・技術の世界(1単位・春ターム)	4	225	56.25	4	204	51.00	21	110.3%
	科学・技術の世界(1単位・夏ターム)	4	139	34.75	4	146	36.50	▲ 7	95.2%
	科学・技術の世界(集中)(1単位・春ターム)	1	7	7.00	—	—	—	—	—
	主題別科目 小計	102	5,625	55.15	101	5,826	57.68	▲ 201	96.5%
	(集中・論文指導除く)小計	74	5,024	67.89	70	5,275	75.36	▲ 251	95.2%
	(集中)小計	5	220	44.00	3	210	70.00	10	104.8%
	(論文指導)小計	23	381	16.57	24	341	14.21	40	111.7%
共通科目	体育学A(実技・1単位)	52	1,315	25.29	55	1,524	27.71	▲ 209	86.3%
	体育学B(講義・2単位)	1	152	152.00	1	119	119.00	33	127.7%
	情報学	18	2,671	148.39	19	2,716	142.95	▲ 45	98.3%
	統計学	11	854	77.64	11	782	71.09	72	109.2%
	インターンシップ	(2)	—	—	(2)	174	87.00	—	—
	共通科目 小計	82	4,992	60.88	86	5,315	61.80	▲ 323	93.9%
外国語を除く教養科目 合計		327	14,993	45.85	328	15,670	47.77	▲ 677	95.7%
うち論文指導(主題別・一般教育演習)小計		69	1,134	16.43	67	1,103	16.46	31	102.8%
外国語科目	英語	137	5,317	38.81	137	5,325	38.87	▲ 8	99.8%
	ドイツ語	25	957	38.28	26	999	38.42	▲ 42	95.8%
	フランス語	12	416	34.67	12	430	35.83	▲ 14	96.7%
	ロシア語	5	153	30.60	5	173	34.60	▲ 20	88.4%
	スペイン語	6	240	40.00	7	278	39.71	▲ 38	86.3%
	中国語	21	803	38.24	21	768	36.57	35	104.6%
	韓国語	5	141	28.20	5	128	25.60	13	110.2%
外国語科目 小計		211	8,027	38.04	213	8,101	38.03	▲ 74	99.1%
外国語演習	英語演習	97	1,319	13.60	96	1,283	13.36	36	102.8%
	英語演習(集中)	6	91	15.17	6	121	20.17	▲ 30	75.2%
	ドイツ語演習	17	400	23.53	15	297	19.80	103	134.7%
	フランス語演習	11	169	15.36	13	195	15.00	▲ 26	86.7%
	ロシア語演習	6	83	13.83	6	97	16.17	▲ 14	85.6%
	スペイン語演習	9	141	15.67	9	176	19.56	▲ 35	80.1%
	中国語演習	14	282	20.14	16	338	21.13	▲ 56	83.4%
	韓国語演習	5	50	10.00	4	46	11.50	4	108.7%

	外国語特別演習	7	113	16.14	12	223	18.58	▲ 110	50.7%
	外国語演習 小計	172	2,648	15.40	177	2,776	15.68	▲ 128	95.4%
外国語 合計		383	10,675	27.87	390	10,877	27.89	▲ 202	98.1%
基礎科目	人文・社会科学の基礎	11	1,182	107.45	11	1,328	120.73	▲ 146	89.0%
	文系基礎科目 小計	11	1,182	107.45	11	1,328	120.73	▲ 146	89.0%
	線形代数学	33	1,919	58.15	34	1,937	56.97	▲ 18	99.1%
	微分積分学	34	1,962	57.71	34	1,940	57.06	22	101.1%
	数学概論	2	24	12.00	2	16	8.00	8	150.0%
	数学 小計	69	3,905	56.59	70	3,893	55.61	12	100.3%
	物理学	24	1,858	77.42	24	1,838	76.58	20	101.1%
	化学	29	1,863	64.24	29	1,866	64.34	▲ 3	99.8%
	生物学	21	1,816	86.48	21	1,806	86.00	10	100.6%
	地球惑星科学	6	620	103.33	6	651	108.50	▲ 31	95.2%
	理科 小計	80	6,157	76.96	80	6,161	77.01	▲ 4	99.9%
	基礎自然科学実験	1	12	12.00	1	16	16.00	▲ 4	75.0%
	自然科学実験	16	972	60.75	17	979	57.59	▲ 7	99.3%
	実験 小計	17	984	57.88	18	995	55.28	▲ 11	98.9%
基礎科目 合計		177	12,228	69.08	179	12,377	69.15	▲ 149	98.8%
日本語・日本事情		2	21	10.50	4	21	5.25	0	100.0%
全学教育科目 1学期合計		889	37,917	42.65	901	38,945	43.22	▲ 1,028	97.4%

※ 一般教育演習 集中講義「グローバルキャリアデザイン」及び「インターンシップ」の履修者数は、未定のため、「30/29年度比較」欄は、これらを除いて算出している。

※ 4学期制科目（夏ターム）については、取消期間前のため、履修取消前のデータを算出している。

※ 教養教育連携事業（受信科目）については除外

外国語科目の詳細

区分	授 業 科 目（細目）	30年度 1 学期（履修取消後）			29年度 1 学期（履修取消後）			30/29年度比較	
		クラス数	履修者数	1クラスの履修者数	クラス数	履修者数	1クラスの履修者数	履修者の増減	前年比%
外国語科目	英語Ⅰ	78	2,575	33.01	78	2,593	33.24	▲ 18	99.3%
	英語Ⅱ（1年次・CALL）	51	2,581	50.61	51	2,585	50.69	▲ 4	99.8%
	英語（再履修）	8	161	20.13	8	147	18.38	14	109.5%
	英語 小計	137	5,317	38.81	137	5,325	38.87	▲ 8	99.8%
	ドイツ語	24	912	38.00	25	949	37.96	▲ 37	96.1%
	ドイツ語（再履修）	1	45	45.00	1	50	50.00	▲ 5	90.0%
	ドイツ語 小計	25	957	38.28	26	999	38.42	▲ 42	95.8%
	フランス語	11	400	36.36	11	395	35.91	5	101.3%
	フランス語（再履修）	1	16	16.00	1	35	35.00	▲ 19	45.7%
	フランス語 小計	12	416	34.67	12	430	35.83	▲ 14	96.7%
	ロシア語	4	141	35.25	4	154	38.50	▲ 13	91.6%
	ロシア語（再履修）	1	12	12.00	1	19	19.00	▲ 7	63.2%
	ロシア語 小計	5	153	30.60	5	173	34.60	▲ 20	88.4%
	スペイン語	5	218	43.60	6	263	43.83	▲ 45	82.9%
	スペイン語（再履修）	1	22	22.00	1	15	15.00	7	146.7%
	スペイン語 小計	6	240	40.00	7	278	39.71	▲ 38	86.3%
	中国語	20	773	38.65	19	722	38.00	51	107.1%
	中国語（再履修）	1	30	30.00	2	46	23.00	▲ 16	65.2%
	中国語 小計	21	803	38.24	21	768	36.57	35	104.6%
	韓国語	4	135	33.75	4	113	28.25	22	119.5%
	韓国語（再履修）	1	6	6.00	1	15	15.00	▲ 9	40.0%
	韓国語 小計	5	141	28.20	5	128	25.60	13	110.2%
外国語科目 合計		211	8,027	38.04	213	8,101	38.03	▲ 74	99.1%
（1年次・CALL除く）小計		146	5,154	35.30	147	5,189	35.30	▲ 35	99.3%
（1年次・CALL）小計		51	2,581	50.61	51	2,585	50.69	▲ 4	99.8%
（再履修）小計		14	292	20.86	15	327	21.80	▲ 35	89.3%

理科基礎科目の詳細

理科基礎科目	物理学	23	1,837	79.87	23	1,812	78.78	25	101.4%
	物理学（再履修）	1	21	21.00	1	26	26.00	▲ 5	80.8%
	物理学 小計	24	1,858	77.42	24	1,838	76.58	20	101.1%
	化学	28	1,835	65.54	28	1,832	65.43	3	100.2%
	化学（再履修）	1	28	28.00	1	34	34.00	▲ 6	82.4%
	化学 小計	29	1,863	64.24	29	1,866	64.34	▲ 3	99.8%
	生物学	20	1,801	90.05	20	1,780	89.00	21	101.2%
	生物学（再履修）	1	15	15.00	1	26	26.00	▲ 11	57.7%
	生物学 小計	21	1,816	86.48	21	1,806	86.00	10	100.6%
	地球惑星科学	6	620	103.33	6	651	108.50	▲ 31	95.2%
	地学 小計	6	620	103.33	6	651	108.50	▲ 31	95.2%
	理科（実験除く）合計	80	6,157	76.96	80	6,161	77.01	▲ 4	99.9%
	物理学・物理学（上級）・化学・生物学・地球惑星科学 小計	77	6,093	79.13	77	6,075	78.90	18	100.3%
（再履修）小計		3	64	21.33	3	86	28.67	▲ 22	74.4%

平成30/29年度(第2学期)全学教育科目履修者数対比表(履修取消後：H31.1.10現在)

区分	授 業 科 目	30年度2学期			29年度2学期			30/29年度比較	
		クラス数	履修者数	1クラスの履修者数	クラス数	履修者数	1クラスの履修者数	履修者の増減	前年比%
	一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	60	940	15.67	60	849	14.15	91	110.7%
	(集中・論文指導除く)小計	33	462	14.00	32	400	12.50	62	115.5%
	(集中)小計	11	245	22.27	9	246	27.33	▲ 1	99.6%
	(論文指導)小計	16	233	14.56	19	203	10.68	30	114.8%
総合科目	環境と人間	11	1,518	138.00	14	1,671	119.36	▲ 153	90.8%
	環境と人間(1単位・秋ターム)	1	91	91.00	1	30	30.00	61	303.3%
	環境と人間(1単位・冬ターム)	1	35	35.00	1	20	20.00	15	175.0%
	健康と社会	6	907	151.17	6	960	160.00	▲ 53	94.5%
	人間と文化	6	285	47.50	5	246	49.20	39	115.9%
	人間と文化(1単位・秋ターム)	1	121	121.00	1	109	109.00	12	111.0%
	人間と文化(1単位・冬ターム)	1	91	91.00	1	78	78.00	13	116.7%
	特別講義	1	7	7.00	1	3	3.00	4	233.3%
	特別講義(1単位・秋ターム)	1	56	56.00	1	55	55.00	1	101.8%
	特別講義(1単位・冬ターム)	1	31	31.00	1	33	33.00	▲ 2	93.9%
	総合科目 小計	30	3,142	104.73	32	3,205	100.16	▲ 63	98.0%
主題別科目	思索と言語	6	844	140.67	6	794	132.33	50	106.3%
	思索と言語(論文指導)	2	57	28.50	4	83	20.75	▲ 26	68.7%
	歴史の視座	8	695	86.88	12	944	78.67	▲ 249	73.6%
	歴史の視座(1単位・秋ターム)	0	0	-	1	209	209.00	▲ 209	0.0%
	歴史の視座(1単位・冬ターム)	0	0	-	1	172	172.00	▲ 172	0.0%
	歴史の視座(論文指導)	3	94	31.33	1	19	19.00	75	494.7%
	芸術と文学	8	1,442	180.25	10	1,193	119.30	249	120.9%
	芸術と文学(論文指導)	2	50	25.00	1	14	14.00	36	357.1%
	社会の認識	12	1,453	121.08	10	1,263	126.30	190	115.0%
	社会の認識(集中)	1	17	17.00	1	21	21.00	▲ 4	81.0%
	社会の認識(1単位・秋ターム)	0	0	-	1	17	17.00	▲ 17	0.0%
	社会の認識(1単位・冬ターム)	0	0	-	1	13	13.00	▲ 13	0.0%
	社会の認識(論文指導)	8	112	14.00	7	134	19.14	▲ 22	83.6%
	科学・技術の世界	17	932	54.82	17	1,037	61.00	▲ 105	89.9%
	科学・技術の世界(1単位・秋ターム)	4	145	36.25	3	201	67.00	▲ 56	72.1%
	科学・技術の世界(1単位・冬ターム)	4	101	25.25	3	156	52.00	▲ 55	64.7%
	科学・技術の世界(論文指導)	1	3	3.00	1	4	4.00	▲ 1	75.0%
	主題別科目 小計	76	5,945	78.22	80	6,274	78.43	▲ 329	94.8%
	(集中・論文指導除く)小計	59	5,612	95.12	65	5,999	92.29	▲ 387	93.5%
	(集中)小計	1	17	17.00	1	21	21.00	▲ 4	81.0%
	(論文指導)小計	16	316	19.75	14	254	18.14	62	124.4%
共通科目	体育学A(実技・1単位)	35	777	22.20	39	902	23.13	▲ 125	86.1%
	体育学B(講義・2単位)	3	478	159.33	3	526	175.33	▲ 48	90.9%
	情報学	11	606	55.09	11	677	61.55	▲ 71	89.5%
	統計学	9	635	70.56	9	626	69.56	9	101.4%
	共通科目 小計	58	2,496	43.03	62	2,731	44.05	▲ 235	91.4%
外国語を除く教養科目 合計		224	12,523	55.91	234	13,059	55.81	▲ 536	95.9%
うち論文指導(主題別・一般教育演習)小計		32	549	17.16	33	457	13.85	92	120.1%
外国語科目	英語	144	4,428	30.75	153	4,497	29.39	▲ 69	98.5%
	ドイツ語	25	948	37.92	26	977	37.58	▲ 29	97.0%
	フランス語	12	412	34.33	12	433	36.08	▲ 21	95.2%
	ロシア語	5	140	28.00	5	160	32.00	▲ 20	87.5%
	スペイン語	6	219	36.50	7	272	38.86	▲ 53	80.5%
	中国語	21	809	38.52	20	759	37.95	50	106.6%
	韓国語	5	139	27.80	5	113	22.60	26	123.0%
	外国語科目 小計	218	7,095	32.55	228	7,211	31.63	▲ 116	98.4%
外国語演習	英語演習(集中含む)	69	877	12.71	76	1,032	13.58	▲ 155	85.0%
	ドイツ語演習	16	309	19.31	17	339	19.94	▲ 30	91.2%
	フランス語演習	12	230	19.17	11	232	21.09	▲ 2	99.1%
	ロシア語演習	7	91	13.00	6	103	17.17	▲ 12	88.3%
	スペイン語演習	9	130	14.44	8	132	16.50	▲ 2	98.5%
	中国語演習	21	386	18.38	17	349	20.53	37	110.6%
	韓国語演習	5	61	12.20	5	67	13.40	▲ 6	91.0%
	外国語特別演習	13	225	17.31	12	212	17.67	13	106.1%
	外国語演習 小計	152	2,309	15.19	152	2,466	16.22	▲ 157	93.6%
外国語 合計		370	9,404	25.42	380	9,677	25.47	▲ 273	97.2%

基礎科目	人文・社会科学の基礎	4	754	188.50	4	709	177.25	45	106.3%
	文系基礎科目 小計	4	754	188.50	4	709	177.25	45	106.3%
	線形代数学	28	1,007	35.96	28	1,078	38.50	▲ 71	93.4%
	微分積分学	28	1,376	49.14	28	1,347	48.11	29	102.2%
	数学概論	1	6	6.00	1	14	14.00	▲ 8	42.9%
	数学 小計	57	2,389	41.91	57	2,439	42.79	▲ 50	97.9%
	物理学	24	1,813	75.54	23	1,802	78.35	11	100.6%
	化学	27	1,835	67.96	27	1,835	67.96	0	100.0%
	生物学	21	1,447	68.90	21	1,440	68.57	7	100.5%
	地球惑星科学	6	936	156.00	6	959	159.83	▲ 23	97.6%
	理科 小計	78	6,031	77.32	77	6,036	78.39	▲ 5	99.9%
	心理学実験	4	96	24.00	4	113	28.25	▲ 17	85.0%
	自然科学実験	17	1,012	59.53	17	1,001	58.88	11	101.1%
	実験 小計	21	1,108	52.76	21	1,114	53.05	▲ 6	99.5%
	基礎科目 合計	160	10,282	64.26	159	10,298	64.77	▲ 16	99.8%
日本語・日本事情		1	13	13.00	1	12	12.00	1	108.3%

全学教育科目 2学期合計	755	32,222	42.68	774	33,046	42.70	▲ 824	97.5%
全学教育科目 1学期合計	892	38,059	42.67	905	38,978	43.42	▲ 919	97.6%
全学教育科目 1・2学期合計	1,647	70,281	42.67	1,679	72,024	42.90	▲ 1,743	97.6%

※ 一般教育演習 集中講義「グローバルキャリアデザイン2」の履修者数は、未定のため、除いて算出している。
※ 教養教育連携事業（受信科目）については除外
※ 現代日本学プログラム課程、ISPのみを対象とした科目は除外

外国語科目の詳細

区分	授 業 科 目 (細目)	30年度 2 学期			29年度 2 学期			30/29年度比較	
		クラス数	履修者数	1クラスの履修者数	クラス数	履修者数	1クラスの履修者数	履修者の増減	前年比%
外国語科目	英語Ⅲ	73	2,155	29.52	78	2,196	28.15	▲ 41	98.1%
	英語Ⅳ	66	2,161	32.74	69	2,195	31.81	▲ 34	98.5%
	英語 (再履修)	5	112	22.40	6	106	17.67	6	105.7%
	英語 小計	144	4,428	30.75	153	4,497	29.39	▲ 69	98.5%
	ドイツ語Ⅱ	24	917	38.21	25	945	37.80	▲ 28	97.0%
	ドイツ語Ⅰ (再履修)	1	31	31.00	1	32	32.00	▲ 1	96.9%
	ドイツ語 小計	25	948	37.92	26	977	37.58	▲ 29	97.0%
	フランス語Ⅱ	11	397	36.09	11	412	37.45	▲ 15	96.4%
	フランス語Ⅰ (再履修)	1	15	15.00	1	21	21.00	▲ 6	71.4%
	フランス語 小計	12	412	34.33	12	433	36.08	▲ 21	95.2%
	ロシア語Ⅱ	4	135	33.75	4	154	38.50	▲ 19	87.7%
	ロシア語Ⅰ (再履修)	1	5	5.00	1	6	6.00	▲ 1	83.3%
	ロシア語 小計	5	140	28.00	5	160	32.00	▲ 20	87.5%
	スペイン語Ⅱ	5	217	43.40	6	262	43.67	▲ 45	82.8%
	スペイン語Ⅰ (再履修)	1	2	2.00	1	10	10.00	▲ 8	20.0%
	スペイン語 小計	6	219	36.50	7	272	38.86	▲ 53	80.5%
	中国語Ⅱ	20	763	38.15	19	717	37.74	46	106.4%
	中国語Ⅰ (再履修)	1	46	46.00	1	42	42.00	4	109.5%
	中国語 小計	21	809	38.52	20	759	37.95	50	106.6%
	韓国語Ⅱ	4	134	33.50	4	112	28.00	22	119.6%
	韓国語Ⅰ (再履修)	1	5	5.00	1	1	1.00	4	500.0%
	韓国語 小計	5	139	27.80	5	113	22.60	26	123.0%
	外国語科目 合計	218	7,095	32.55	228	7,211	31.63	▲ 116	98.4%
	(英語Ⅲ・Ⅳ・初習外国語Ⅱ) 小計	207	6,879	33.23	216	6,993	32.38	▲ 114	98.4%
	(再履修) 小計	11	216	19.64	12	218	18.17	▲ 2	99.1%

理科基礎科目の詳細

理科基礎科目	物理学Ⅱ	23	1,793	77.96	22	1,775	80.68	18	101.0%
	物理学Ⅰ (再履修)	1	20	20.00	1	27	27.00	▲ 7	74.1%
	物理学 小計	24	1,813	75.54	23	1,802	78.35	11	100.6%
	化学Ⅱ	26	1,814	69.77	26	1,805	69.42	9	100.5%
	化学Ⅰ (再履修)	1	21	21.00	1	30	30.00	▲ 9	70.0%
	化学 小計	27	1,835	67.96	27	1,835	67.96	0	100.0%
	生物学Ⅱ	20	1,439	71.95	20	1,418	70.90	21	101.5%
	生物学Ⅰ (再履修)	1	8	8.00	1	22	22.00	▲ 14	36.4%
	生物学 小計	21	1,447	68.90	21	1,440	68.57	7	100.5%
	地球惑星科学Ⅱ	6	936	156.00	6	959	159.83	▲ 23	97.6%
	地学 小計	6	936	156.00	6	959	159.83	▲ 23	97.6%
	理科 (実験除く) 合計	78	6,031	77.32	77	6,036	78.39	▲ 5	99.9%
	(物理学・化学・生物学・地球惑星科学) 小計	75	5,982	79.76	74	5,957	80.50	25	100.4%
	(再履修) 小計	3	49	16.33	3	79	26.33	▲ 30	62.0%

教育評価 EDUCATIONAL EVALUATION

2018年度学生調査および卒業生調査を実施

本学では、毎年2学期に1年生と3年生の全学生を対象にした学生調査を実施しています。この調査は、成績からは測ることのできない汎用的能力などを学生に自己評価してもらい教育改善に役立てることを目的としています。これらの結果は、学部毎に集計し、全学と当該学部との比較分析結果として、各学部へ訪問し報告しています。また、アセスメントポリシーの設定にともない、各学部のディプロマポリシーに掲げられた内容の達成度を測る指標のひとつとして本学生調査が活用できることも示してきました。調査項目は、大学での学修状況、汎用的能力の自己評価、大学生活や教育環境に対する満足度等に関するものであり、本学も加盟する大学IRコンソーシアムが提供する共通調査項目を用いています。今回、同調査項目で実施する7回目の調査となります。Web上のアンケートシステムを用い、11月26日から12月7日まで調査を実施しました。さらに、回答回収率向上のために、12月8日から14日まで回答期間を延長しました。学生へは、調査開始時を含めて計3回メールにより通知し、1年生へは全学教育の英語科目授業において調査協力依頼文を配布しました。また、図書館、学部等へポスターの掲示を依頼しました。2018年度の回答回収率は、1年生が19.5%、3年生が11.5%でした(図1)。1年生は過去7年間で最低、3年生は4年間微増を続けていましたが、今回微減に転じました。図1の通り、1年生の回収率は20～30%程度の間で変動し、3年生については10数パーセントで安定していることがわかります。課題となっている回収率の向上については、今回3年生の向上を目的に、各学部へ回収率の途中経過をお知らせし、あらためて学生への周知の協力をお願いしました。全体的な回収率は、前年度比で若干下がっているものの、授業中に学生へ周知していただいた学部は、回収率が向上していました。学部毎に在籍学生数が大きく異なり、カリキュラム等の都合で全学生への周知が困難な学部もあるかと思いますが、授業中の学生への周知は効果があ

るようです。引き続き、回収率の向上にご協力をお願い致します。

卒業生調査は、2013年度より実施しています。大学での学修活動の熱心度、在学中に身に付けた汎用的能力の自己評価、職種、転職・離職の有無等をたずねています。調査対象を学士課程卒業生としており、今回より全12学部が参加しての実施となりました。調査方法は、卒業生への質問用紙の送付、返信で行ってきましたが、今回Web調査を導入しました。卒業生へ送付する案内には質問用紙とWeb上での回答方法を同封し、どちらかで回答できるよう併用の形で12月から1月にかけて(遅れて届く回答については2月末まで受け付け)実施しました。回答回収率は、表1の通りです。全体の回収率は、26.9%で、前年度比マイナス1.0ポイントで微減しています。注目すべきは、郵便とWebそれぞれの回答率ですが、全体では郵便46.0%に対してWebは54.0%となり、半数強の方がWebによる回答を選択していました。Web調査の導入により、全体の実質回答率が向上する効果も期待していましたが、残念ながらそのような効果は見られませんでした。学部による宛先不明数の差も問題です。卒業生の住所よりもメールアドレスの方が把握できているのではないかとの声もあります。次回の調査も引き続き郵便とWebの併用で行い、回収率によって方法を検討していきたいと考えています。また、例年通り、学部による回収率の差があり、16.7%から40.0%までの幅があります。文系学部に比べて理系学部の回答率が高い傾向も例年通りです。これまで国内の国公立大学と連携して調査を進めてきましたが、他大学の卒業生調査回収率は20%前後の事例が多い状況ですので、本学の全体の回収率は比較的高く、農学部は40%と非常に高く、驚くべき値です。このような回収率差にも注目しつつ、調査結果の分析を進めていきたいと考えています。さらに、本調査は、今回より大学IRコンソーシアムの卒業生調査(今回は試行として実施し、2019年度以降本格的

に実施の予定）と共通の調査項目（本学の独自調査項目あり）を用いて実施しています。大学IRコンソーシアムには10校の調査結果が集まる予定ですので、全体平均と本学との比較が可能になります。

別にもとめ、総合IR室より報告する予定です。データベースの整備も進めていますので、過去の調査結果も含めたより詳細な分析結果も提供できるようになります。

両調査とも現在集計と分析を進めています。学部

（宮本 淳）

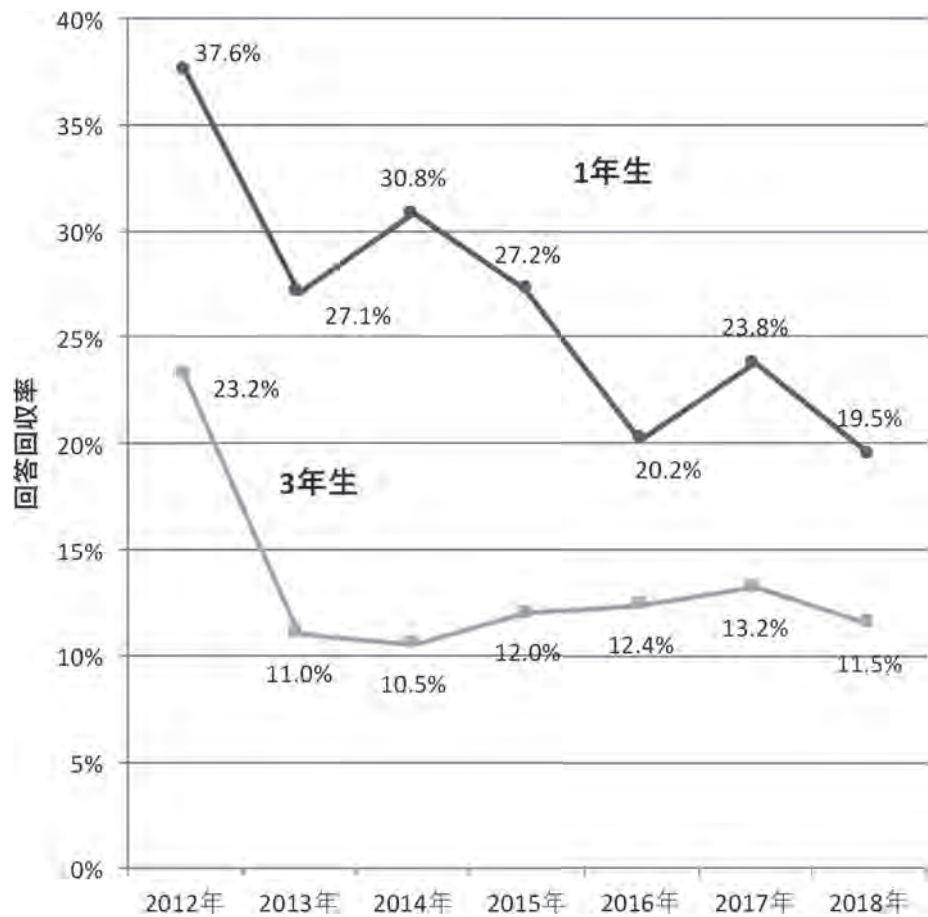


図 1 学生調査の回答回収率経年変化

表 1 卒業生調査実施概要

学 部 名	総発送数	宛先不明数	実送数	郵便による 回答数	Web回答数	回 答 合 計 数 (郵便+Web)	全回答の内 郵便回答率	全回答の内 Web回答率	実質回収率
文学部	237	8	229	19	34	53	35.8%	64.2%	23.1%
教育学部	58	4	54	7	6	13	53.8%	46.2%	24.1%
法学部	379	7	372	30	32	62	48.4%	51.6%	16.7%
経済学部	288	9	279	24	32	56	42.9%	57.1%	20.1%
理学部	658	99	559	55	84	139	39.6%	60.4%	24.9%
医学部医学科	232	4	228	41	30	71	57.7%	42.3%	31.1%
医学部保健学科	247	77	170	25	15	40	62.5%	37.5%	23.5%
歯学部	99	6	93	20	11	31	64.5%	35.5%	33.3%
薬学部	223	18	205	36	31	67	53.7%	46.3%	32.7%
工学部	468	28	440	43	83	126	34.1%	65.9%	28.6%
農学部	236	6	230	46	46	92	50.0%	50.0%	40.0%
獣医学部	108	19	89	20	14	34	58.8%	41.2%	38.2%
水産学部	326	34	292	35	52	87	40.2%	59.8%	29.8%
合 計	3,559	319	3,240	401	470	871	46.0%	54.0%	26.9%

2019年度全学公開講座のテーマ・講師が決定

2019年度の「北海道大学公開講座(全学企画)」は、7月1日(月)から22日(月)に実施されます。昨年12月から今年1月に開催された高等教育研究専門委員会公開講座実施部会(部会長=大滝純司・医学研究院教授)での検討を経て、例年どおり、全学から選ばれた8名の教員が連続で講演することになりました(表1)。

テーマは「いま感じる、生かす、見つめなおすスポーツの力」です。公開講座が開催される今年7月は、東京オリンピック・パラリンピックの開幕まで、あと1年という時期にあたります。今回の講座は、観る人、自らす人、その他スポーツに関わるすべての人にとって、スポーツの体験や実践を、より楽しく、深く、豊かなものにするためのヒント

を、様々な専門分野からの講義を通じて多角的に学ぶ機会とすべく企画しました。スポーツをめぐる諸問題や、スポーツを通じて拓かれる新たな可能性にも焦点を当て、その力を持続可能な形で生かす道筋について考えます。

今年の会場は、7月15日(月・海の日)は工学部フロンティア応用科学研究棟2階のレクチャーホール(鈴木章ホール)、それ以外の平日は高等教育推進機構1階大講堂です。定員は100名、受講料は5000円(特定回の受講を希望する場合、1回につき1500円で受講可)。受講申込書の請求・問い合わせは、電話011-706-5567(学務部学務企画課総務担当)またはメール(hukk@high.hokudai.ac.jp)まで。

(三上 直之)

表1 2019年度北海道大学公開講座(全学企画)
テーマ：いま感じる、生かす、見つめなおすスポーツの力

日程		講義題目	担当講師
第1回	7月1日(月) 18:30~20:30	身体活動と健康	医学研究院 玉腰 暁子 教授
第2回	7月4日(木) 18:30~20:30	スポーツ・ツーリズムによる地方創生	観光学高等研究センター 石黒 侑介 准教授
第3回	7月8日(月) 18:30~20:30	膝関節のスポーツ傷害	医学研究院 近藤 英司 特任教授
第4回	7月11日(木) 18:30~20:30	観る、視られる、省みる：認知科学から見るスポーツ	教育学研究院 阿部 匡樹 准教授
第5回	7月15日(月・祝) 13:00~14:45 15:15~17:00	様々な温度環境に対する人体の生理応答	工学研究院 若林 斉 准教授
第6回		スポーツをめぐる法と倫理—ドーピング問題	法学研究科 小名木 明宏 教授
第7回	7月18日(木) 18:30~20:30	障害者スポーツの世界とできない身体の創造性	教育学研究院 山崎 貴史 助教
第8回	7月22日(月) 18:30~20:30	理想主義との対話 ～未だ達成されぬオリンピック・デモクラシーの歴史～	教育学研究院 池田 恵子 教授

学生支援 STUDENT SUPPORT

2019年度夏季休暇における 「全学インターンシップ」の実施に向けて

キャリアセンターと共同で、全学教育科目として「インターンシップA(国内)」及び「インターンシップB(国内)」を開講していますが、今年度についても夏季休暇を中心とした実施に向けてスタートしています。おおよそのスケジュールは表1のとおりです。

まず、インターンシップ希望学生に対する意識の醸成を図るため、4月18日にキャリアセンターと共催で「インターンシップではじめる!! 就活準備ガイダンス」を開催しました。インターンシップが就活や就職後の仕事とどのようにつながっているのかなどについて、採用コンサルタントをお招きし議論していただきました。

さらに、5月9日及び10日(クラーク会館講堂)に「全学インターンシップ履修説明会」を開催します。本説明会では、まず前年度に全学インターンシップに参加した学生にその体験談をお話いただき、参加しようと思っている学生のモチベーションの向上を図ります。その後、担当教員である高等教育推進機構の亀野から制度の概要、スケジュール、手続き、心構えなどについて説明をし、キャリアセンターの職員から具体的な手続きについて説明を行う予定です。

また、一昨年度から新たな試みとして実施してきた「インターンシッププレ研修」を、5月22日、25日、29日、7月17日に実施し、インターンシップ先企業の選び方やグループワーク、企業・業界研究の

実践などを行う予定です。

その後、6～7月にかけて、参加希望学生と企業等のマッチングを行い、参加が決まった学生に対しては7月2日、3日、9日、10日(函館キャンパスは別途実施予定)に講義形式の事前研修を実施し、その後、1名あたり15分の個人面談も実施する予定です。

この事前研修や個人面談では、インターンシップ先の企業・団体や業界等の研究を行うとともに、インターンシップを通じて検証したい仮説をインターンシップ前に設定し、インターンシップを通じてその検証を行う予定です。同時に、学生はインターンシップ先の企業等に対して連絡を取り、札幌近辺の場合は事前に訪問し、打ち合わせを行います。仮説の検証や学生自らの連絡・打ち合わせの実施は、1～2週間という短期間のインターンシップの効果をより高めるため、北大独自の方式となっています。

これらを経て、参加学生はそれぞれの企業・団体で夏季休暇中にインターンシップ実習を行う予定です。

インターンシップ終了後には、1ヶ月以内に研修成果レポートを学生各自が提出するとともに、10月には受入企業にも参加していただき、参加学生の「インターンシップ成果発表共有会」を開催し、インターンシップの成果を共有する予定です。

(亀野 淳)

表1 2019年度 全学インターンシップ スケジュール (予定)

4月18日(木)	「インターンシップではじめる!! 就活準備ガイダンス」
4月上旬～5月17日(金)	受入申込登録(企業)
5月9日(木), 10日(金)	全学インターンシップ履修説明会
5月9日(木)～	参加申込登録(学生)
5月22日(水)	「インターンシッププレ研修①」
5月25日(土)	「インターンシッププレ研修②」
5月29日(水)	「インターンシッププレ研修③」
6月4日(火)～11日(火)	参加希望企業名登録(学生)
6月14日(金)	第1次マッチング結果の通知
6月24日(月)～26日(水)	先着マッチング(第1次マッチングがされなかった学生と企業のマッチング)
7月2日(火), 3日(水)	事前研修①実施
7月9日(火), 10日(水)	事前研修②実施
7月中旬または下旬	事前研修①②(函館キャンパス)実施
7月17日(水)	「インターンシッププレ研修④」
7月中旬～8月上旬	個人面談(学生と担当教員)
夏季休暇期間	インターンシップ参加(学生)
インターンシップ終了後1ヶ月以内	研修成果レポートの提出(学生)
10月	「インターンシップ成果発表共有会」(学生, 企業)

経済同友会と連携した長期インターンシッププログラムの実施

2016年度から本学は公益社団法人経済同友会が実施する「望ましいインターンシップの枠組み」(<http://www.doyukai.or.jp/policyproposals/articles/2015/160328a.html>)の趣旨に賛同し、経済同友会が実施するインターンシップに参加してきました。今年度より経済同友会が中心となり「一般社団法人経済同友会インターンシップ推進協会」を設立し、本学も正会員として参画することとなりました。したがって、今年度からは同協会の一員として夏季休暇中にインターンシップを実施することになります。

本プログラムは経済同友会が提唱した学部1, 2年生からの長期インターンシップです。つまり、最近の多くのインターンシップが1週間程度の短期のものが中心であり、また、参加学生も就職を次年度

に控えた学部3年生や修士1年生が大部分を占める中で、教育的要素をより強くしたものです。

本学からは、昨年度は9社11名の学生派遣でしたが、今年度は三井住友銀行、野村證券、第一生命保険、日本航空、コニカミノルタ、みずほ証券、デュポン、三菱ケミカル、全日本空輸、JR東日本、三井不動産へ各1名、計11社、11名の学生を派遣することとなりました。

5月9日及び10日に開催される「全学インターンシップ履修説明会」等を通じ学部1, 2年生に周知し、5月16日まで参加希望学生の募集を行います。

その後、書類審査と面接を行い、上記の企業への派遣学生を決定する予定です。

(亀野 淳)

日誌 EVENTS, December-March

12月

12月2日(行事)

第104回サイエンス・カフェ札幌
「のぞいてごらんさい～分子をつかむ光のピンセット～」

7日(講演) 講演会「Institutional Researchへの理解と組織構築～継続的な改善活動による意思決定支援に向けて～」(高等教育研修センター)

8日(研修) シラバスのブラッシュアップ研修(高等教育研修センター)

11日(会議) 入学者選抜委員会

11日(行事) AO入試(大学入試センター試験を課さない学部・学科)・帰国子女入試・国際総合入試合格発表

15日(研修) プレゼンテーション入門(高等教育研修センター)

17日(研修) ハラスメント防止研修会「大学の場で被害者も加害者も出さないために」教員-学生間のハラスメント(高等教育研修センター)

18日(会議) 平成30年度第10回高等教育推進機構運営委員会

19日(会議) ELMS定例会, オープンエデュケーションセンター連絡会

26日～1月4日(行事)

私費外国人留学生入試願書受付

11日(研修) 英文Eメールライティング研修(初級編)(高等教育研修センター)

12日(研修) 英文Eメールライティング研修(中級編)(高等教育研修センター)

16日(会議) ELMS定例会

18日(会議) 平成30年度第12回高等教育推進機構運営委員会

18日(会議) 第6回全学教育専門委員会

19日～20日(試験)

大学入試センター試験

22日(研修) 発達障害のある学生への対応～生活上や精神上的の困り感に寄り添って～(高等教育研修センター/学生相談総合センターとの共催)

25日(研修) アカデミック・ライティング研修(中級編)(高等教育研修センター)

25日～30日(会議)

平成30年度第13回高等教育推進機構運営委員会(持ち回り)

26日(研修) アカデミック・ライティング研修(上級編)(高等教育研修センター)

27日(行事) 討論劇とワークショップ「その時、あなたは埋め込むか?～討論劇で問う生体IoTを用いた健康管理の是非～」

28日～2月6日(行事)

一般入試願書受付(前期日程・後期日程)

30日(会議) 平成30年度第1回FD連絡会

1月

1月7日～11日(会議)

平成30年度第11回高等教育推進機構運営委員会(持ち回り)

2月

2月1日(研修)

ワークショップ「英語でシラバスを

	作成する」(高等教育研修センター)	15日 (試験)	私費外国人留学生入試第2次選考日
4日 (会議)	第4回北海道地区FD・SD推進協議会幹事会	16日 (研修)	英語コミュニケーション研修～スピーキング編 (高等教育研修センター)
5日 (行事)	学部・学科等移行ガイダンス	17日 (行事)	GAME×WORKSHOP「THE RULE」 生態系をつくる編
6日 (行事)	学部・学科等紹介	18日 (研修)	ループリック評価作成ワークショップ(入門編)(高等教育研修センター)
6日 (研修)	平成30年度第2回北海道大学TF研修会	18日 (研修)	ワークショップ「アクティブラーニングに学生を没頭させる」(高等教育研修センター)
7日 (会議)	第2回北海道地区FD・SD推進協議会認定プログラム開発検討WG	19日・21日・17日 (研修)	実用英会話(業務英会話)研修(高等教育研修センター)
8日 (会議)	第1回オープンエデュケーション専門委員会科学技術コミュニケーション教育研究専門部会	20日 (会議)	第7回全学教育専門委員会
9日～18日 (行事)	展示・「くまが奏でる地図, 万華鏡に潜む地球」	20日 (会議)	第1回高等教育研究専門委員会
11日 (行事)	第105回サイエンス・カフェ札幌「ラストストーンの軌跡 ～カーリングAIと選手の協力で勝利をつかめ!～」	22日 (会議)	平成30年度第1回高等教育研修センター共同利用運営委員会・高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会
12日 (会議)	入学者選抜委員会	22日 (会議)	平成30年度北海道地区FD・SD推進協議会特別総会
12日 (行事)	AO入試(センター試験を課す学部・学科)・国際総合入試最終合格発表	22日 (研修)	ワークショップ「教職協働で教育の質保証を実質化する」(高等教育研修センター)
12日・13日 (研修)	英語プレゼンテーション研修(中級編)(高等教育研修センター)	23日 (研修)	研修会「大学におけるカルト対策」(高等教育研修センター／学生相談総合センターとの共催)
13日 (会議)	ELMS定例会, オープンエデュケーションセンター連絡会	24日 (行事)	科学技術コミュニケーターのキャリアを考える研究会「科学技術コミュニケーションで起業する～科学コミュニケーション研究所(SCRI)の事例～」
14日 (会議)	第5回総合教育教務・学生専門委員会	25日～26日 (試験)	一般入試(前期日程)
14日 (会議)	北海道地区FD・SD推進協議会2019北海道FD・SDフォーラム実行委員会	27日 (会議)	第4回高等教育推進機構学務委員会
15日～21日 (会議)	第3回大学院共通教育専門委員会(持ち回り)	28日 (会議)	オープンエデュケーションセンター
15日 (研修)	英語コミュニケーション研修～リスニング編(高等教育研修センター)		

外部評価委員会

3月

- 3月1日・5日・7日(研修) 実用英会話(業務英会話)研修(高等教育研修センター)
- 4日(研修) ワークショップ「教育研究活動における異文化コミュニケーション」(高等教育研修センター)
- 5日(会議) 第1回オープンエデュケーション専門委員会
- 5日(会議) クラス担任幹事会
- 5日(会議) 第14回高等教育推進機構運営委員会
- 6日(会議) 入学者選抜委員会
- 7日(会議) 第6回教務委員会
- 7日(行事) 一般入試(前期日程)・私費外国人留学生入試合格発表
- 8日(行事) オープンエデュケーションフォーラム2018
- 9日(研修) 英語によるビジネスコミュニケーション研修(高等教育研修センター)
- 9日(行事) CoSTEP14期生修了式・成果発表会
公開シンポジウム「地域が耕すサイエンス～北のまちから始まる持続可能な未来への挑戦～」
- 11日(会議) クラス担任等連絡会
- 12日(試験) 一般入試(後期日程)
- 13日(会議) ELMS定例会, オープンエデュケー

ションセンター連絡会

- 15日(会議) 全学教育専門委員会成績評価結果検討専門部会
- 15日(研修) 英語コミュニケーション研修～スピーキング編(高等教育研修センター)
- 16日(研修) 英語コミュニケーション研修～リスニング編(高等教育研修センター)
- 18日(会議) 第6回総合教育・教務学生専門委員会(持ち回り)
- 18日(会議) 第2回教務委員会教務情報システム専門委員会
- 18日(研修) Teaching in Englishワークショップ(発展編)(高等教育研修センター)
- 18日(予定)(研修) ハラスメント防止研修会(高等教育研修センター)
- 19日(予定)(研修) TF振り返り研修会
- 20日(会議) 入学者選抜委員会
- 20日(行事) 一般入試(後期日程)合格発表
- 20日(会議) 総合教育移行専門委員会
- 23日(予定)(行事) 「仮想世界ゲーム」
- 29日(予定)(行事) CoSTEP受講説明会(北海道大学東京オフィス)

行事予定 SCHEDULE, April-August

◆4月

- 1(月), 2(火), 6(土) 新入生定期健康診断
- 3(水) 新入生オリエンテーション及び総合教育部ガイダンス(学部・学科等移行ガイド

ンス, 学部ガイダンス)

- 4(木) 入学式
- 5(金) 履修調整・登録に関するガイダンス及び教育情報システム(ELMS)利用に関するガイダンス

6 (土) ~11 (木)

履修相談会MANAVI

8 (月) 第1学期授業開始日

8 (月) ~12 (金)

抽選科目の申込期間 (Web入力)

16 (火) 抽選科目の結果発表日及び追加申込日

17 (水) ~23 (火)

履修登録 (Web入力)

◆5月

8 (水) ~9 (木)

履修時間割確認期間

20 (月) 6講時授業実施開始

◆6月

7 (金) ~9 (日)

大学祭 [期間中休講]

10 (月) ~12 (水)

履修登録科目の取消期間 (Web)

15 (土) TOEFL-ITP試験 (英語Ⅱ)

19 (水) 6講時授業実施終了

17 (月) ~19 (水)

自由設計科目登録変更期間

◆7月

24 (水) 水曜日の授業終了日

30 (火) 火曜日の授業終了日

31 (水) 初習外国語統一試験日 (通常授業は休講)

◆8月

1 (木) 木曜日の授業終了日

2 (金) 金曜日の授業終了日

4 (日) ~5 (月)

オープンキャンパス

5 (月) 月曜日の授業終了日 (第1学期授業終了日)

6 (火) ~9/26 (木)

夏季休業日

22 (木) 全学教育科目成績Web上公開

22 (木) ~23 (金)

全学教育科目成績確認及び成績評価に関する申立て期間



ニュースレター 2019, No.114 目次

(巻頭言) 国際教育研究部の軌跡 …… 高橋 彩 1	2018年度
ラーニングサポート室2018年度活動報告 …… 3	学生調査および卒業生調査を実施 …… 17
新渡戸カレッジ・フェローゼミの取組み …… 5	2019年度
学務委員会報告 …… 10	全学公開講座のテーマ・講師が決定 …… 19
平成31年度 全学教育部・総合教育部行事予定表 …… 12	2019年度夏季休暇における 「全学インターンシップ」の実施に向けて …… 20
平成30/29年度(第1学期)全学教育科目履修者数 対比表 …… 13	経済同友会と連携した 長期インターンシッププログラムの実施 …… 21
平成30/29年度(第2学期)全学教育科目履修者数 対比表 …… 15	日誌 …… 22
	行事予定 …… 24
	目次・編集後記 …… 26

編集後記

平成から令和へ。平成の30年間に様々な技術革新とそれに伴う社会の変容がありました。代表的なものの一つとしてインターネット技術の進歩とSNSの普及を挙げられるでしょう。今号に掲載された学生調査、卒業生調査の記事においてもWeb回答システムの利用について言及がありました。北海道大学では授業評価にもWeb回答システムが導入されるようになり、随分と便利な世の中になったなあとつくづく思います。

一方で、我々にはそのような技術を正しく利用し、社会の一員として責任をもった行動をとる必要があります。また、教員として、学生にはそのような意識をもって学生生活を送るように指導しなくてはなりません。より一層気を引き締めて新しい時代を進んでいきたいと思います。(海苔)

ニュースレター

(北海道大学高等教育推進機構広報誌)

通算 第114号

発行日： 2019年4月30日

発行元： 北海道大学高等教育推進機構
〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目

編集委員：◎細川敏幸・鈴木誠・飯田直弘・岩間徳兼
ご意見、お問い合わせは◎印の編集委員まで
電話 (011)706-7514, FAX (011)706-7521

インターネットホームページ：
<https://www.high.hokudai.ac.jp/center/>